

(様式 1 - 6)

授業公開予定表

事業名	主体的・対話的で深い学びの実装推進モデル校事業
-----	-------------------------

公開授業

学年 教科等	公開日時	学校名	単元名及び本時の主張点
1年 理科	6月19日 (金)11:30 ~12:20	多度津町立 多度津中学校	<ul style="list-style-type: none">○ 単元名「身のまわりの物質とその性質」○ 金属の性質と実験結果を関連付け、ICT活用やデータ比較、再実験から根拠ある考察を促す。情報の扱い方や探究過程の育成を重視し、科学的な思考力や表現力を高める授業を展開する。
1年 英語	6月19日 (金)11:30 ~12:20		<ul style="list-style-type: none">○ 単元名「Program3 タレントショーを開こう」○ 助動詞 can を用いて夢のロボットを紹介する英文を書き、生成AIでイラスト化する。ロイロノートで共有機能を用いて多様な表現に触れ、振り返りを通して伝える力と表現活動への意欲を醸成する。
1年 保健体育	6月19日 (金)10:30 ~11:20		<ul style="list-style-type: none">○ 単元名「自然災害による傷害の防止」○ Google マップやICTでハザードマップ等の情報を収集・具体化し、前時の知識から安全な避難経路を考察する。他者と危険箇所を共有し、多様な状況から身を守る術を学ばせる。
2年 国語	6月19日 (金)10:30 ~11:20		<ul style="list-style-type: none">○ 単元名「字のない葉書」○ 「暴君」と「号泣」の対比から父の葛藤を読解させ、不器用な愛情への理解を促す。個人思考と対話の往還で多様な解釈に気付かせ、スプレッドシートを用いた情報共有で協働的な学びとメタ認知を図る。
2年 理科	6月19日 (金)11:30 ~12:20		<ul style="list-style-type: none">○ 単元名「植物の体のつくりと働き」○ 本単元は単元内自由進度学習を軸に、5つの節を生徒が主体的に学べるような環境設定をしている。一斉指導も交え、生徒が授業で学ぶ過程を通して探究の思考過程を身に付けることを大切にしたい。

3年 理科	6月19日 (金)9:30～ 10:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「酸・アルカリとイオン」 ○ 授業の対話場面を増やし、教師の問いかけで誤概念を解消し理解を深めさせる。生徒主導の実験と発表で考えを共有させ、ICTの記録から学びを可視化する。イオンの動きから酸・アルカリの性質を改めて捉えさせ既習知識を更新させる。
3年 英語	6月19日 (金) 9:30 ～10:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「Step1 聞き上手になろう」 ○ 人物紹介を通じた興味深い英語のやりとりを設定し、教師のモデル提示や表現支援で発話を深め、会話を継続させる。事前メモで表現に注力させ、端末の録画機能で客観的に振り返り、改善を促す。
3年 数学	6月19日 (金) 9:30 ～10:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「平方根」 ○ 面積などの視覚的根拠を用いて平方根と有理数を対比させ、生徒がその関係性を説明できるように支援する。既習の四則計算との共通点・相違点から理解を深め、ロイロノートでヒントカードを配り習熟度に応じた課題を自己選択をさせる。
3年 数学	6月19日 (金) 10:30 ～11:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「平方根」 ○ レベル選択式の導入で既習事項への不安を解消させる。根号を含む計算では、有理数の計算方法と比較して計算法を論理的に導かせる。振り返りでは、振り返りの視点を具体的に提示し、授業と家庭学習を接続する手立ての一つとする。
3年 音楽	6月19日 (金) 10:30 ～11:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「祖国への思いを音楽に託して～音楽の意味や役割とは～」 ○ 題材を貫く問いを設定し、音の仕掛けから表現の可能性を考える。Gemini やロイロノートを活用してスメタナの背景や曲の特徴に迫る。また、選択・共通課題を通して、歴史的背景と曲との関わりや作曲者の意図を深く理解させる。
3年 社会	6月19日 (金)9:30～ 10:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名「戦争に向かう世論」 ○ 政府の政策や国際連盟脱退を題材に、資料比較やICTを活用した情報共有を軸とした対話的学びを実践する。振り返りの視点を現代の課題と結びつけさせ、生徒の判断力と表現力を育む。